

288のこと

令和4年度
一般会計予算
を可決

93億
7800万円
(前年度比3.9%増)

3月定例会(3月1日~23日)は、議員辞職により2名欠員の中で活発な議論がかわされました。新年度予算をはじめ、太陽光発電設置に関する条例など注目の質疑を掲載します。

3月定例会の会議録は、6月初旬から見られます。QRコードかインターネットで【小川町議会 会議録】と検索



Pick up!

学校給食センター

築41年

人間ドック

受診枠375人

知っておきたい!この数字

児童虐待に歯止めを 子ども家庭総合支援センターの開設

Q 児童福祉法の一部改正を背景として令和4年度からコソットに、子ども家庭総合支援センターの機能が追加される。児童虐待等への対応など、専門員の配置も必要になってくると思われているが、対策等は。



期待

子育て世代に周知して、充実させて欲しいです。
高田さんファミリー(錦町)

A 特に虐待の通告や連絡等が多くなり、職員も生懸命に対応しているところです。体制としては子育て支援課だけで完結するものではなく、関係課等と連携する中で、事業ごとに適切な支援に結び付けるための取組を図っていきます。

子育て支援のオンライン化

Q 子ども家庭総合支援センター機能の設置や、既に取り組んでいるオンライン保健指導の拡充等、子育て支援に係る各種相談事業等のオンライン化はどの程度進むか。

ン業務として施設のPR動画やホームページの作成に係る委託料等です。あわせて、コワーキングスペースとしての利用を整えていくための備品購入を考えています。

スクールバス

Q 地域住民に協力を願う添乗員の取組や役割について、詳細等は。



大型バスの前に並んだスクールバスの添乗員の皆さんです。4月から登校時と下校時の各2往復、交代で1人ずつ乗車していただきます。

A 東小川地区の見守り隊を中心に4人程度で検討しています。乗降時の児童数と安全の確認、急な体調不良となった児童への対応などをお願いするところです。また、非常時の対応として、走行中については運転士と連携を図ってもらうこととお願いいたします。併せて、バス会社で定める災害時の対応マ

A 子ども家庭総合支援センター機能における実情の把握や情報提供については、対面での対応や家庭への訪問が基本になると捉えています。各種の相談事業は、希望にあわせて電話対応も行っています。今後の子育て支援のオンライン化については、他の自治体等の取組を研究し、考えていきます。

学校給食センター

Q 整備に係る調査業務の委託料が示されたが、詳細は。

A 築41年が経過する給食センターの在り方について、同施設を建築した経験があるなどの業者に依頼し、専門的な知見から整備に必要な事項を整理してもらう予定です。学校再編が進んでいく中で、

ニユアルを共有してもらおう等の対策を考えています。

マイナンバーカード

Q 令和4年度における交付率とその目標に向けた取組等は。

A 国では令和4年度末までに国民のほとんどにマイナンバーカードが行き渡ることを目指しています。当町の交付率は、令和4年2月末時点において35・3%です。75歳以上の未申請の方を対象に、国からQRコード付き申請書が送付されたので、徐々に申請につながっていくと捉えています。今後は、第2弾となるマイナンバーの周知を図りながら、若い世代にはスマホ等からの申請を案内し、高齢者には公民館や福祉施設等での出張申請など、年齢に応じた対応を工夫することで、まずは交付率50%に近づけるよう進めていきたいと考えています。

下里・青山板碑製作遺跡

Q 保存と活用について、十分な取組は図られるのか。また今後の展望等は。



有効活用

下里・青山板碑製作遺跡は小川町の魅力の一つです。有効的な保存・活用策が推進されることを、史跡指定に関わった一人として願っています。

高橋好信さん(元担当職員)

A 見学やハイキングで訪れる方が国指定となった遺跡の状況が分かるように、下草伐採や清掃等の維持管理を行っています。今後の展望として、1点目は同遺跡群をどのように拡大していくかということ。考古学等の専門家と連携した調査や発掘や研究を行っています。非常に地道な作業で時間を要しています。2点目は、活用の観点として考古学をはじめ、地質学や歴史学など多方面からのアプローチができることと捉え、各種の講演会や見学ツアーを展開し、遺跡の理解や中世の文化に興味を持ってもらえるよう工夫していきたいと考えています。



小川町議会だよりは

町民登場に「タワフル」

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます(裏表紙も)ご覧ください。